



フットフットマガジン7月号

★最終節で決まった優勝争い。両リーグの接戦を制したのは!★



★ディビジョン2は「WENSIRI1024」

★ディビジョン1は「蹴鞠道」

気温の上昇にあわせ白熱したリーグアミーゴ。ディビジョン1、2ともに、最終戦で決まる!

両リーグともに、勝ち点が拮抗し、最後の最後までどこが優勝するか分からなかった7月大会。

意地のぶつかり合いとなったディビジョン1は各チームが勝ち点6で並んだ。その戦いを僅か得失点差1で制したのは、昇格組みの蹴鞠道となった。

決定戦は7月26日のエスポルチとの最終節。後半残り僅までエスポルチが3対1とリードし、このまま終了すればエスポルチが優勝。しかし、残り1分。蹴鞠道が相手ゴール前でのフリーキックを得る。これを執念でつなぎ、最後は9番山田がゴールし、2対3でタイムアップ。試合では負けたが、得失点差で逆転し、肉を切らせて骨を絶つ戦いで初優勝を決めた。

昇格を争うディビジョン2は、2勝を挙げたトルシーダの粘りで混戦が生まれた。命運が決まる最終節のWENSIRI1024対たま倶楽部の1戦。一進一退となった後半にWENSIRIが決勝ゴールを決め3対2で勝利。苦しみながらも優勝と昇格を決めた。

今大会は、まさに実力伯仲の戦いが目立った。気持ちの入った戦いで大会を盛り上げてくれた全プレイヤーに感謝したい。より熱い戦いが期待される8月大会は9日に開幕する。

みんなで ENJOY FUTSAL !